

### 【前期第6問】

甲とその仲間である乙は、甲が乙に自動車事故を装って軽度の傷害を与え、保険金を騙取する計画を立てた。

そこで甲は車を運転して信号のある交差点にさしかかった際、信号待ちのために一時停車していた無関係な第三者である丙運転の車に、過失による自動車事故を装って故意に自車を衝突させ、丙の車をその前に停車していた乙運転の車に追突させた。この衝突事故により、丙および乙の両者は入院加療を要しない程度の打撲傷を負った。その後乙は、自身の傷害が軽微で長期間加療の必要がないにも関わらずこれが必要であるかのように装って長期間の入院加療を受け、保険金を騙取した。

甲の罪責を検討せよ。

参考判例 最高裁昭和 55 年 11 月 13 日第二小法廷決